

第21回だいしんカップ少年サッカーフェスティバル実施要項

1. 名 称 第21回だいしんカップ少年サッカーフェスティバル
2. 主 催 大分市サッカー協会
3. 主 管 大分市サッカー協会ジュニア委員会、大分市サッカースポーツ少年団
4. 共 催 大分信用金庫
5. 後 援 大分合同新聞社
6. 期 日 2014年2月1日(土)・15日(土)・16日(日)
7. 会 場 七瀬川自然公園、南大分スポーツパーク、大在東グラウンド、西部グラウンドA・B
8. 参加資格
 - ①九州大会大分県大会に出場しない大分・臼杵・佐伯地区のチーム及び選手であること。
 - ②平成25年度日本サッカー協会に加盟登録(第Ⅳ種)したチームであること。
 - ③平成13年4月2日以降に生まれた選手で構成されたチームであること。
 - ④スポーツ障害保険に必ず加入していること。
 - ⑤大会の運営に協力できるチームであること
 - ⑥大会中、また大会後の写真撮影、およびその写真の大分信用金庫様のホームページ上への掲載を了承できるチーム及び選手であること。
 - ⑦その他、第45回大分県少年サッカーフェスティバル・九州ジュニア(U-12)サッカーフェスティバル大分地区予選実施要項に記載されている参加資格を満たすチーム及び選手であること。
(臼杵・佐伯地区チームにおかれましては、大分地区大会要項の確認をお願いします。)
9. 試合方法
 - ①参加チームを主催・共催者抽選による3~4チームの16パートに分け、リーグ戦による第1次予選(2/1)を行う。第1次予選を勝ち上がった16チームは、トーナメント戦による第2次予選(2/15)を行い決勝進出8チームを決定する。決勝トーナメント(2/16)の組み合わせ・日程は、第2次予選終了後、8チーム参加による抽選会を開催し決定する。(抽選会場・時刻は別途連絡する。)
決勝トーナメントの結果により、以下の通り表彰する。
 - 優勝(優勝カップ、金メダル16、賞状)
 - 準優勝(銀メダル16、賞状)
 - 第3位(銅メダル16、賞状)
 - 敢闘賞(銅メダル16、賞状)
 - ②第1次予選の試合時間は30分とし、勝敗が決しない場合にはPK戦を行う。
第1次予選における順位の決定は下記の通り。
 - ①勝ち点(勝ち3、PK勝ち2、PK負け1、負け0) ②当該チームの戦績 ③得失点差
 - ④総得点 ①~④でも決しない場合は、さらに⑤代表決定のためのPK戦を行う。
 - 第2次予選からは試合時間を40分とし、勝敗が決しない場合には、PK戦を行い、次回戦の出場を決定する。
準決勝・三位決定戦・決勝の4試合については、40分で勝敗が決しない場合、10分間の延長戦を行う。それでも勝敗が決しない場合にはPK戦を行う。
 - ③選手の交代は、登録された選手の中から自由にできる。控えの選手はビブスを着用するなどして、フィールド内の選手と識別できること。
 - ④試合球は参加賞のボールを使用する。(マジックを持参し、チーム名を明記すること。)

⑤競技規則は、平成25年度日本サッカー協会8人制競技規則による。

登録できる交代要員及び交代の最大人数は10人とし、交代して退いた競技者は交代要員となり、再び出場することができる。交代の回数は制限されない。交代はアウトオブプレー時に、主審の許可を得て、本部役員の管理の下で行う。交代ゾーンは設置せず、近いサイドからピッチ外へ出ることとする。

⑥競技場の大きさは、縦68m、横50mを基準とする。

センターサークル(ペナルティアーケも同様)半径7m、よってコーナーキック及びフリーキックの際の相手競技者との距離も7m、ゴールエリア4m、ペナルティエリア13m、ペナルティマーク8mとし、ゴールポストは少年用を使用する。

⑦大会期間中、2回(累計)の警告・退場を宣告された選手は次回戦に出場できない。

⑧雷雨・豪雪等荒天の場合には、試合の中止・中断など臨機応変に対応するとともに、その後の運営等、大会のあり方については大会本部にて協議・決定するので、その決定に従うこと。

⑨ベンチスタッフは5名以内とする。戦術的指示は、その都度、自陣ベンチから引率指導者の内、1人だけが伝えることができる。同時に2人以上による指示はできない。支持者がはっきりとわかるよう、指示は立って伝えることとする。ベンチに座ったままでの指示は行わない。

⑩不戦敗は、0-3とする。

⑪審判は、有資格者による相互審判3人制とする。

10. 参加方法

①参加選手の登録は、日本協会発行の選手登録証を有する18人まで。

指導者の登録は、監督1人を含むスタッフ5人までとする。そのうち1人以上は、日本協会発行の指導資格証を有すること。選手証・指導資格証は常時携行し、大会本部に提示すること。

※登録選手の変更は、原則1週間前までとする。但し、時節柄、流行性・感染性疾患などによる急な変更も予想されるので、そうしたやむを得ぬ事情の場合は柔軟に対応する。よって、必ず、事務局まで電話にて連絡・相談すること。また、大会申し込み受付アドレスまで、変更分のメンバー表を送付するとともに、大会当日、本部に1部提出すること。

※第45回大分県少年サッカー大会・九州ジュニア(U-12)サッカーハンズル大分県大会大会大分地区予選に参加した各チームについては、県大会に出場しないチームは、だいしんカップにさんかするものとして、大会の準備を進めておりますので、だいしんカップに参加する意向が無い場合は、その旨
2014年1月4日(土)迄に必ず事務局(oja.jr.oita@gmail.com)まで連絡をすること。

②参加料 無料

③本大会の組み合わせ抽選について

本大会では、運営の簡素化、経費削減のため、各チーム代表者を招集しての抽選会は実施せずに、大会主催・共催者で厳正に抽選を行う。抽選はフリー抽選とする。シードは行わない。

11. その他

①ユニホームは正・副を用意し、どちらとも背番号は選手本人と一致すること。

・背番号は1~8までの通し番号であることが望ましい。

・ユニホームの下にアンダーシャツ、スパッツ等を着用する場合は、その色が袖の主たる色と同色であること。

・広告表示については、ユニホーム規定により承認された場合のみ認める。

・JFA規約 ユニホームの既定 第5条(7)その他②に明記されているとおり、「チームは、各国代表チーム及びプロクラブチームのレプリカを着用して公式競技会に出場することはできない」とのこととする。

- ②出場選手の保護者の承諾は、必ず取り付けておくこと。
- ③設営・後片付け(清掃を含む)・会場担当など、大会運営に積極的に協力すること。また、応援のマナーを守ること。特に、審判、大会本部、相手チームなどに対する誹謗中傷は固く禁じる。目に余る行為が見られた場合には、厳重に注意すると共に、その程度によっては、大会本部にて規律・フェアプレー委員会を開き、協議の上、次年度以降の参加を認めない決定を下すこともある。
- 加えて、選手への厳しい叱責や体罰等があったと認められ、主審から一度注意を受けた後に、再度、同様の行為があった場合は、主審の判断により退席処分とし、それ以降はベンチからのコーチングを認めない。それ以降の試合については、規律・フェアプレー委員会において協議する。上記事項を承諾の上、大会に参加すること。承諾できないチームの参加は認めない。
- ④各会場での受付時に、選手証を本部に提出すること。(申請中のコピーは認めない)
- ⑤各会場における駐車場、および会場周辺の通行におけるマナーの励行を徹底すること。
- ・駐車場における場所取りは絶対に行わないこと。
 - ・駐車場内では、徐行運転の徹底など安全運転に努めること。
 - ・各会場にて、駐車場の整理係が居る場合には、その指示に必ず従うこと。
 - ・各会場とも駐車の際には、チーム名を記入した駐車票をダッシュボード上に提示すること。
 - ・駐車場内におけるトラブルについて、大会本部はその責任を一切負わない。
 - ・駐車場に関する苦情への対応などにより、大会役員が大会本来の業務に従事できず、大会の運営に支障をきたすなど、そのチームの参加資格の是非を問う事象が発生した場合には、当該チームに厳重注意を行うと共に、③同様、その程度によっては、大会本部にて規律・フェアプレー委員会を開き、大会の出場取り消しを含め、ペナルティを課すこともあるを承諾の上、参加すること。承諾できないチームの参加は認めない。
- ⑥開会式は、2月1日(土)9時から、大在東グラウンドにて実施する。
該当パートの全チームは開会式に必ず参加すること。
- ⑦決勝トーナメントの抽選は、2月15日(土)16:00より()にて実施する。チーム代表者1名(保護者でも可)が参加すること。選手が参加、または同席する場合は、会場の都合上、入室はチーム1名しか認められない。
- ⑧閉会式は、2月16日(日)決勝戦終了後、大在東グラウンドにて行うので、表彰対象4チームは必ず参加すること。
- ⑨大会組み合わせ決定後、流行性疾患などによるやむを得ない事情で大会への参加を辞退せざるを得ない事態が生じた場合は、その旨、早急に連絡すること。
- ⑩優勝チームにおいては、代表選手に、試合の感想などを原稿用紙1枚程度にまとめ、大分信用金庫様へ提出すること。その作文は、大分信用金庫様のホームページ上で公開されることを了承のこと、参加すること。(※参加資格⑥参照)
- ⑪本大会に参加した時点で、⑨及び⑩の項目については了承しているものと見なすので、各チーム内にて、その旨選手及び保護者に対して、周知徹底を図ること。